

# 平成 17 年度学校経営計画表

## 1 学校の現況

学校番号	特 12	学校名	茨城県立大子養護学校				課程	全日制				学校長名	茅根 修嗣			
教 頭 名	村田 孝二								事務長名	古内 浩平						
教 職 員 数	教 諭	24	養護教諭	1	常勤講師	4	非常勤講師 非常勤看護職員	2	実習教諭 実習講師 実習助手	0	事務職員	2	技術職員等	6	計	39
生 徒 数	学部等	1年		2年		3年		4年		5年		6年		合計		合 計 クラス数
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
	小学部	3	2	2	0	0	0	4	2	4	3	6	2	19	9	9
中学部	2	2	5	2	4	2							11	6	6	

## 2 目指す学校像

<p>本校にかかわるだれもが、本校の教育についてわかりあえる学校。その実現にむけて本校にかかわる者が主体的に参画する学校。 地域に根ざした開かれた学校。地域の総合的な特別支援教育を支援する学校。</p> <p>(1) 児童生徒が課題を意識し、元気にたくましく学ぶ学校 (2) 保護者が安心して、気軽に相談する学校 (3) 教職員の創意工夫に満ちた働きがいのある学校 (4) 地域からのニーズにこたえられる学校</p>
--

## 3 現状分析と課題

項 目	現 状 分 析	課 題
生活・学習指導	個別の指導計画の効果的な運用が望まれる。 障害の重い児童生徒の適切な課題の選択と目標の設定が望まれる。	発達課題を明確にした個別の指導計画を活用した授業作り 「自立活動」の目標・内容を明確にし、ニーズにそった授業作り
保護者の支援	我が子を正しく理解し、教育への共同参画が望まれる。	個別の指導計画を活用しての理解と参画への意識づけ
専門性の向上	指導への分析的な取り組みや、積極的に校務にあたらうとする姿勢が望まれる。	創意と工夫のある実践力の向上 保護者や参観者から理解を受ける授業

地 域 支 援	地域のニーズにこたえられる、能率的な支援にかかわる運営が望まれる。	コーディネーターを核とする支援業務の円滑な運営の推進
---------	-----------------------------------	----------------------------

#### 4 中期的目標

<p>(1) 本校教育目標を主体的にとらえ、指導目標・内容の的確化を図った教育課程の実践。</p> <p>(2) 実践状況を具体的に整理して、授業参観・個別懇談等を改善・工夫し、子育て支援の充実。</p> <p>(3) 創意と工夫から、指導への考え方や実践の改善に努め、責任と一貫した協力体制のある教師集団の充実。</p> <p>(4) 能率的な地域支援体制の運営を図り、個別の教育支援計画及び個別の指導計画を活用して、地域社会に根ざした特別支援の学校作り。</p>
---

#### 5 本年度の重点目標

重 点 目 標	具 体 的 目 標	達 成 状 況
児童生徒を的確にとらえ、一人一人を大切にしたいきめ細かな教育の推進	個に応じた発達課題を明確にした個別の指導計画による指導の実践 個別の教育支援計画及び個別の指導計画を活用し、ニーズと実態にそった支援体制の実現	
保護者や教師等の各間の連携を密にして、一貫した協力体制と参画意識をもった教育の推進	教師間の連携を図った学級経営と、学年等の各間にわたったチームワークの実践 個別懇談等をおして保護者と指導のあり方の共通理解の深化	
特別支援教育の専門職としての教育活動の展開	領域・教科の指導内容等の改善をもとに、生きる力を育成する指導の実践 「自立活動」の指導の充実および障害の重い児童生徒の適切な指導の実践	
地域における特別支援教育のセンター的役割をはたし、地域社会に貢献する教育の推進	地域広報誌の発行、地域の関係者等への支援体制の充実 交流事業を積極的に推進し、総合的な支援体制の実践	